

アオハナムグリ

「見たことない花が咲いてる」と湯澤さんがいいました。???, 自然の知識では当協会ナンバー1の湯澤さんにして、見たことがない花があるとは、と思い案内されて見た花は見たことがありました、北大苫小牧研究林の前庭にあったあれだと思ったのですが、名前が浮かんでできません。その日の宿に須田さんから連絡があり、カンボクと名が知れました。ツルアジサイを思わせる形ですが、葉も姿も違います。



花の美しさもさることながら、私の興味は花に集まっていた虫たちにありました。ハナカミクリの幾種類かが目につきましたが、中でもハナムグリがいたので、紹介いたします。アオハナムグリでした。場所は支笏湖 CGC 烏柵舞の森、カンボクの花の上、2012年6月25日、正午あたりと記録しておきます。

ハナムグリとアオハナムグリは一見区別は困難ですが、掴まえてひっくり返して腹側を見れば区別は確実です。ハナムグリは胸周りには金色の繊毛が生えていますがアオにはありません。他にアオは成虫で越冬個体が確認されていますが、ハナはその例がみつからないようです。

ハナムグリたちはコガネムシの仲間うちで飛行能力が優れていて、スピードもあるしホバリングもこなします。花粉が大好きで、分布は日本全土。

この日の作業は翌日に迫った CGC ジャパン 40 年記念植樹祭の準備でした。おえらいさんが全国から多勢参加されるので、準備万端でなければなりません。

植樹祭は盛大でした。報道陣も多数。まずは当協会理事長でもある横山 清氏の挨拶から



始まりました。お歴々の記念樹お手植えから、一人あたり4本ばかりの実苗植えで終わりですが、さすがはしっかりした企業の手配、抜かり目はありませんでした。

なお、カンボクは広い烏柵舞の森で他に1株がみづかり、2株のみが確認できました。澄川にはもちろんありません。